

交換留学 帰国後報告書 (1)

記入年月日	2020年5月11日		
学部・研究科/学年	経済学部	4年	留学開始時 3年
留学先大学	The Evergreen State College		
留学先所属学部・研究科	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった		
留学期間（履修期間）	2019年9月20日 ～ 2020年3月27日		

I. 交換留学の選考を受けるまで

① 留学先の国、大学を選んだ理由を教えてください。	人種や性など多様な側面をもつアメリカで現地学生に混ざって自分の目でみて、体感したかったので兵庫県立大学唯一のアメリカ提携校であるエバーグリーン州立大学を選択した
② 交換留学の選考を受けるまでに語学対策等準備したことを教えてください。	フィリピンセブ島語学学校、カナダトロントの語学学校での TOEFL 対策 日本の英語補習校での TOEFL 対策

II. 選考後の留学の準備について

① ビザの種類	J1 ビザ
② ビザ申請のための必要書類（在学証明書、預金残高証明書等）	DS2019（エバーグリーン州立大学が発行する留学生であることの証明書）、パスポート、証明写真ビザ申請書類
③ ビザの申請手順と申請場所（機関名、都市）	駐大阪・神戸米国総領事館、大阪
④ 面接の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> オンライン） <input type="checkbox"/> なし
⑤ ビザ発行までの日数	14日
⑥ ビザ申請で問題になったこと、注意点があれば教えてください。	特になし
⑦ 荷物を別送しましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
⑧ 別送した場合は、発送方法と費用、受け取りまでの日数を教えてください。	

⑩ 授業を受けるために、努力や工夫したことを教えてください。
予習・復習を欠かさない。分からなかったことは当日に教授や他学生に聞き解消しておく。現地学生と比べると課題を終わらせる、理解をする時間はかなりかかることが当たり前なので前もって用意をして行く必要がある。
⑪ 授業の登録や、受講するうえでアドバイスがあれば教えてください。
秋学期以外においては、次学期が始まる前に Academic Fair という授業紹介のイベントがある。担当教授が Fair に来て、シラバスと授業内で使う本を用意してくれる。質疑応答も可。

VII. 学生生活について

① 留学先でどのように現地の学生や留学生と交流を深めましたか？
授業内で出会った人と一番仲のいい友達になることができた。大切なのは、自分から話しかけること。
② クラブ活動や地域の活動、ボランティアなどに参加した人はその内容を教えてください。
なし
③ 週末や休暇の期間はどのように過ごしましたか？
課題、友達とランチ・ディナー、シアトルへの日帰り旅行、他州への長期旅行
④ 留学中に就活をした人は、どのようなことをしたか教えてください。
志望する業界・業種を絞る。興味のある企業を徹底的にリサーチ。帰ったらすぐに就活をすることができるように大まかな流れを把握し、自己分析を進める。
⑤ 現地の生活に役立つ情報（フリーペーパー、雑誌、ウェブサイト、アプリ等）があれば、教えてください。

VIII. 費用について

(総額)

① 留学にかかった費用合計	120万4千 円
② 渡航費	15万 円
③ 現地で払った保険代	7万 円
④ 現地で払った医療費	2万 円
⑤ 食費 (月 5万 円)	30万 円
⑥ 寮(宿舍)費 (月 9万 円/期間 6か月)	54万 円
⑦ 携帯電話代 (月 4千円)	2万4千 円
⑧ 教材、学用品	10万 円

⑨ その他 ()	円
⑩ その他 ()	円
⑪ 留学費用や生活費に関する事でアドバイスがあれば、教えてください。	
教材は学内の本屋で買うとかなり高くなるので、インターネット上で USED の本を買う方が断然割安。また、自炊の方が健康にもよく安価。	
⑫ 受給した留学奨学金と金額を教えてください。	
奨学金の名前：寺浦さよ子記念奨学金	総額 105 万円
⑬ 留学奨学金についてアドバイスがあれば、教えてください。	
留学が決まった瞬間から早め早めに応募できる奨学金があるか事前に調べて、応募をするべき。	

IX. 健康、危機管理について

(公開できる範囲で記入してください)

① 渡航前に加入した学研災付帯海外留学保険と危機管理サービス以外に、加入した保険があれば教えてください (留学先で加入を義務付けている保険や海外旅行保険等)	
エバーグリーン州立大学の保険	
② 留学中に体調を崩したり、怪我をしたことがありましたか	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
③ ②の時にどのように対処しましたか。	
④ 留学中に病院に通いましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑤ 病院に行った方は、どのように病院を探しましたか。	
学内の Student Wellness Center	
⑥ 留学中に気持ちがふさぎ込んだり、落ち込んだりしたことはありましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
⑦ ⑥の時留学先で誰に相談しましたか？	
⑧ 留学中、心理的に苦しいときに克服した方法があれば、教えてください。	
⑨ 留学中困ったことや危険を感じたことと、対処した方法について教えてください。	
病院にいても日本とは異なり、言語の違いもあるので症状を伝えるのが難しい。 持って行くことのできる薬は日本から持って行くべき。	

⑩ 現地社会（習慣、マナー、安全面）において、知っておくほうがいいことがあれば、教えてください。
⑪ 出発前に県大や留学先から提供してほしかった情報があれば、教えてください。
寮費や保険料、各種エバーグリーンの施設使用料などの支払い時にオンライン決済をすると100\$の手数料を支払わなければならないので、学校にある Cashier Office に行き支払えば手数料を支払う必要なし。

X. 今後の目標、留学の感想について

① 卒業予定年月	2021年 3月	(当初の卒業年月: 2021年 3月)
② 卒業・修了が遅れる見込みの場合、その理由と卒業(修了)までの予定を教えてください。		
③ 今後の目標、進路について教えてください。(留学前後で目標進路が変わった場合は、それも含めて書いてください)		
就職		
④ 留學生活の感想と、留學前と比べて考え方や意識の変化があれば教えてください。		
留學生が多いことで知られるアメリカだが、エバーグリーン州立大学は留學生が非常に少なく現地學生とともに現地を感じながら勉學に励むことができた。アジア人のアメリカでの立ち位置を、良くも悪くも自ら体験することができる。LGBTQの割合が他大学よりも非常に高く、個性的な學生が多い中で留學生活を送ることで、マイノリティに関して理解を深めることができた。		
⑤ 次に留學する人へのメッセージがあれば書いてください。		
貴重な9ヶ月間、1日1日を大切に自分らしく過ごしてください。努力をした分だけ、成長をすることができると思います。		

交換留学 帰国後報告書 (2)

交換留学中の学修記録

記入年月日	2020年5月11日		
学部・研究科/学年	経済学部	4年	留学開始時 3年
留学先大学	The Evergreen State College		
留学先所属学部・研究科	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった		
留学期間	2019年9月20日～2020年3月27日		

単位について

留学先で取得した単位数合計	32 単位
本学で認定申請した単位数合計	32 単位
本学で認定された単位数合計	32 単位
<input type="checkbox"/> 単位認定の申請をしない 理由：	

履修科目

①

登録授業名 (現地言語で)	Early Childhood Learning				
履修学期	2019Fall	単位数	16 単位	週の授業回数	3 時間×4 日
授業のスタイル <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト <input type="checkbox"/> 実験 その他 (ワークショップ)					
授業内容	子供の言語発達が学習にどのように影響するのか、それぞれの子供達の言語発達の類似点、相違点、母国語と第二言語の発達について学ぶ教育学および心理学のクラス				
試験・課題	最終プロジェクトである50分間に及ぶプレゼンテーションでは心理学の6つの柱のうちの一つである「Personality」をメインテーマに、姉妹兄弟が性格形成に与える影響について研究をしました				

②

登録授業名 (現地言語で)	Abnormal in a Normalized World: Psychopathology and Treatment Interventions in Context				
履修学期	2020 Winter	単位数	16 単位	週の授業回数	午前2時間半、 午後3時間×3日
授業のスタイル <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト <input type="checkbox"/> 実験 その他 (ワークショップ)					

授業内容	“正常”でいることとはどういうことなのかという質問を元に Abnormal Psychology の観点から主に不安障害、依存症、薬物乱用、総合失調症、人格障害について勉強する心理学のクラス
試験・課題	最終の個人プレゼンテーションでは、日本の社会現象である「引きこもり」が総合失調症・不安障害とどのように関連しているかについて発表をしました